

## 2016年度 日本理学療法士協会理学療法士講習会（愛媛県開催）のご案内

愛媛県理学療法士会では、「2016年度理学療法士講習会基礎編・応用編」を下記の要領で開催致します。本講習会は、理学療法士として応用的な知識と技術を習得するための理学療法士講習会（基礎編・応用編）です。つきましては、多くの理学療法士のご参加をお待ちいたしております。

※お申し込みは、協会ホームページの「マイページ」からお願い致します。なお、講習会情報の検索には「セミナー番号」または「会場所在地」から検索をしていただければ、スムーズにご確認いただけます。

### 【基礎編】

テーマ：中枢神経疾患の理学療法について

日時：2016年11月5日～11月6日

番号：セミナー番号 10467

場所：アシストジャパンデイサービスセンター3号館

講師：曾根 政富（順天堂東京江東高齢者医療センター）・嶋崎 賢剛（アシストジャパン訪問看護ステーション）

内容：中枢神経疾患の理学療法実践のために、基本的理論、臨床推論の進め方、実際の治療技術を学びます。中枢神経疾患に対する神経生理学、運動学背景などから、評価や実際の治療展開を考え、デモンストレーションや実技練習を通して臨床場面での知識、技術の発展を目指します。

申込期間：2016年5月1日（日）～2016年10月15日（土）

問合せ先：森浩二 アシストジャパン訪問看護ステーション aj3homon(a)assistjapan.com

※(a)を@に置き換えてください。

### 【応用編】

テーマ：脳卒中片麻痺に対する運動力学視点からのアプローチ～座位編・立位編・歩行編～

番号：セミナー番号 10466

日時：2016年9月10日～11日

場所：総合リハビリテーション 伊予病院

講師：谷内幸喜（大阪河崎リハビリテーション大学）

内容：講義は、脳卒中片麻痺患者における座位、立位、歩行それぞれの姿勢における特徴を、運動力学的視点から理解する。実技は、脳卒中片麻痺患者に対する座位、立位、歩行といった一連のアプローチを、講師によるデモンストレーションをもとに、受講者自身における実技練習をとおして習得する。

申込期間：2016年5月1日（日）～2016年8月20日（土）

問合せ先：河崎由美子 総合リハビリテーション伊予病院 y.kawasaki(a)iyohp.jp ※(a)を@に置き換えてください。

テーマ：上部体幹の徒手理学療法の評価と治療 ～頸椎・胸椎・肩関節を中心に～

番号：セミナー番号 10431

日時：2016年10月1日～2日

場所：松山リハビリテーション病院

講師：林寛（彦根中央病院）・佐伯武士（大和大学）・近藤正太（三津整形外科）・山内正雄（済生会西条病院）

内容：上部体幹の徒手理学療法の評価に必要な、解剖学・運動学・画像の知識と徒手理学療法の評価・治療について、簡単な講義を行い、実技を中心に行います。講習会終了後の臨床で使えるように、比較的簡単な評価・治療手技を選び、習得しやすいように時間をかけて実技を行う予定です。

申込期間：2016年5月1日（月）～2016年9月10日（日）

問合せ先：佐伯茂行 松山リハビリテーション病院 shigeyuki.saiki(a)gmail.com ※(a)を@に置き換えてください。

テーマ：臨床家のための具体的研究手法

番号：セミナー番号 10433

日時：2016年10月29日～30日

場所：河原医療大学校

講師：天野徹哉（常葉大学）・内田茂博（広島国際大学）・伊藤秀幸（山口コ・メディカル学院）田中繁治（川崎リハビリテーション学院）・森川真也（放射線第一病院）

内容：本研修会では、①なぜ研究が必要なのか、②どのようにエビデンスを臨床で使うのか、③どうすれば臨床研究を始めることができるのか、について学んでいきます。また、先行研究の調査方法や研究に必要な統計解析の用語についての説明を行い、統計解析の実演も行います。なお、1日目は全受講者が一緒に研修会を受けますが、2日目は本人の希望により理解度に合わせて「初級コース」と「中級コース」に分けて、研修会を進めていきます。

申込期間：2016年8月29日（月）～2016年10月15日（土）

問合せ先：森川真也 放射線第一病院 riha(a)juntenkai.jp ※(a)を@に置き換えてください。

テーマ：PNF 概念による中枢疾患に対する運動療法 ～PNF と痙縮改善方法の臨床応用～

番号：セミナー番号 10434

日時：2016年11月12日～11月13日

場所：河原医療大学校

講師：勝浪省三（市が尾カリヨン病院）・内田勝之（愛媛十全医療学院）・水間恒（済生会西条病院）・吉田宏史（松山赤十字病院）

内容：PNF コンセプトの基礎と臨床応用を分かりやすく解説し、中枢疾患における安定性と痙縮改善のアプローチ方法を学習するとともに、その理論的背景を説明する。筋力/安定性向上をより効率よく、効果的に改善するPNF コンセプトの解説を行い、臨床上よく用い、且つ使いやすい運動パターン/動作を練習し、ADL 改善を目指す方法論を学ぶ。また、筋の過緊張が低下する理論を解説し手技の一部を実技練習する。

申込期間：2016年8月29日（金）～2016年10月15日（土）

問合せ先：内田勝之 愛媛十全医療学院 katsuyuki(a)esm-juzen.ac.jp ※(a)を@に置き換えてください。